

## 緊急安全対策「夜間訓練」の実施について（12月7日実施）

福島第二原子力発電所では、東北地方太平洋沖地震に伴う津波被害を踏まえた緊急安全対策（5月20日/国報告）の一環として、5月13日に「緊急安全対策訓練」（140名参加）を実施し、10月13日には「現場実動訓練」（79名参加）を実施しています。

今回（12月7日）は、「夜間」における各実動部隊内の連携・機能等を確認する「現場実動訓練」（61名参加）を実施しました。

同訓練では、照明がない暗い環境下で、原子炉施設の冷却機能回復を図るための電源ケーブルや注水用ホースの接続が確実にできることなどを確認しました。

### 訓練概要

- ～夜間に大規模地震が発生し、全号機で外部電源が喪失、さらに襲来した津波で全交流電源供給設備ならびに海水系冷却設備の機能を喪失した、との仮定で、照明がない環境下においても緊急安全対策活動が行えることを確認しました。  
訓練時間 / 17:00～18:13 参加人数 / 61名（当社および協力企業）

### 電源車の設置による電源確保訓練（夜間）



全交流電源喪失時に、原子炉、使用済燃料プールへの注水や除熱機能を維持するため、電源車を利用して必要な電源を供給する訓練を実施

3号機に電源車を配備、電源ケーブルとの接続確認

<使用資機材>

電源車 1台

電源ケーブル（総延長約1160m敷設済み）

### 原子炉・使用済燃料プールへの注水訓練（夜間）



消防車を使用し、原子炉や使用済燃料プールへ淡水及び海水の注入を行う訓練を実施

送水用消防車を1号機に配備、海水用消防車を1号機取水口南端近傍に配備

ろ過水タンクや耐震防火水槽から1号機の連結送水口へのホース接続確認

<使用資機材>

消防車 3台

消火ホース（総延長約500m）

### ガラ撤去等訓練（夜間）

津波により道路上に散乱したコンクリート片等（ガラ）の障害物を重機で撤去するためのルート確認を行う訓練

<使用資機材> ホイルローダ 1台、バックホー 1台